

令和元年度 竜丘公民館 事業報告

	事業名《基本構想》	実施内容	総括
文化事業	竜丘市民大学講座 《生涯学習の推進》	テーマ「自由画ってなんなの？」 第1講 6/23(日) 参加：20名 講師：北原更一、宮嶋聡子 第2講 2/1(土) 参加：27名 講師：槇村洋介、前沢知子	第1講では、発見、保存、顕彰のこれまでの経緯を。第2講では、美術教育の流れを踏まえて、なぜ竜丘で自由画の取り組みがこれだけ盛り上がったのか、また、どのように観るのか、今後の可能性についてお話いただき、自由画を捉え直す良い機会となった。
	ふるさとコンサート 《文化の伝承と充実》	(期 日) 7/15(月・祝) (参加人数) 153名 一流の音楽家による演奏を気楽に楽しみながら、音楽を身近なものとして親しみ、音楽を通じた住民の交流の場とする。	今年の演奏は「新日フィルメンバーによるクラリネット五重奏」。今年は竜丘小ブラスバンドの発表も実施。交流会も野楽路にご協力いただき、プロの演奏家、子供、保護者、公民館委員、野楽路という多くの人で楽しく交流できた。
	いいだ人形劇フェスタ 竜丘地区公演 《文化の伝承と充実》	(期 日) 7/31～8/5 (観劇者数) 1,092名 本館では、小学生・中学生のボランティアスタッフを募り実施。分館では、会場ごとの実行委員会を組織し、交流や催し物など特色ある取り組みを実施した。	「地区内の世代間交流も大事に」ということで本館のみならず一部の分館でも子どもスタッフを募集。観るだけでも楽しいが、支える楽しさも感じてもらったのではないかと。フェスタは、住民が繋がる機会にもなる。
	竜丘地区文化祭 《生涯学習の推進》 《文化の伝承と充実》	(期 日) 11/9(土)、10(日) (参加人数) 900名 (1) 地区内団体、グループ、個人が日頃の活動の現状や成果を発表、交流する。 (2) 地域における文化活動を活性化させ、地区民の親睦を図る。 (3) 公民館と参加団体による実行委員会を組織して企画、運営にあたる。	トンボ玉づくり、竹とんぼづくりでは中学生ボランティアが大活躍した。昨年の反省から風船は量を減らし問題なく実施できた。特別企画展は「自由画展」とし多くの方に見てもらうことができた。駐車場の関係でトラブルがあったため来年度は打合せをしっかりと行いたい。また開始時間についても来年度検討する。
	成人式	(期 日) 1/12(日) (参加人数) 66名 地域を担う若者たちのために、鈴岡太鼓の演奏、野楽路さん、おいしんぼプラザさんの料理、長野原煙火会の皆さんの花火など、地域をあげて新成人を祝福し激励する。実行委員会を組織し、新成人自ら企画運営に携わり、成人式を通じて、地域を知り、地域へ参画する第一歩となることを期待して行う。	開始時間を昨年より30分遅らせたことで、花火との兼ね合いもよかった。料理やお酒が残ってしまう課題があったが、今年はほとんど残らず良かった。実行委員の5人のまとまりもよく、これで関係が終わってしまうのではなく、次の活動に繋げるよう意識したい。令和4年度から成人式の日が変更される可能性あり。
	第25回ニューイヤーコンサート 《生涯学習の推進》 《文化の伝承と充実》	(期 日) 1/19(日) (出演者数) 15団体、大人171人、子ども77人 大人から子どもまで楽しめる身近な音楽の催し。竜丘在住のメンバーを中心としたグループに呼びかけ、音楽をベースにした新年の交流の場。	会場設営について、前のじゅうたんのスペースが空きすぎてしまったので、来年はイス席を増やし、より良い会場設営としたい。

令和元年度 竜丘公民館 事業報告

体育事業	夏季スポーツ大会 (期 日) 5/19(日) (参加人数) 150 人 《スポーツ振興》	スポーツを通じて、地域住民の親睦交流と、健康の維持増進を図り、活力ある地域づくりにつなげる。	スポーツを通じて地区の皆さんが交流できた。引き続き分館の皆さんにご理解・ご協力をいただきながら地域の輪が広がる機会としていきたい。
体育事業	竜丘市民運動会 《スポーツ振興》	(期 日) 10/13 (日) 【台風 19 号により中止の判断】 ・地域住民が親睦・交流を深める ・健康増進 ・誰もが参加でき、楽しめるよう種目内容を工夫する。 ・中学生スタッフに協力してもらえよう、積極的に働きかけを行う。	しっかりと進めてきたが、台風の影響を考慮して、実行委員会時に協議により中止の判断。残念だったが、慰労会時に子供たちの応援合戦を披露して例年より盛り上がったなどうれしい声も上がっており、地域の交流、親睦が深まる機会となったと感じる。来年は雨天時の対応をしっかりと確認しておく。
	冬季スポーツフェスティバル 《スポーツ振興》	(期 日) 12/1 (日) (参 加) 180 名 誰もが気楽に体を動かし親睦を深められるよう複数の種目を取り入れ実施。 種目 1: ワンふらバレー 種目 2: 囲碁ボール 種目 3: スポーツ吹き矢	普段、各分館で採用しているルールに違いがあり、説明しても、なかなか理解していただくことが難しかったため、来年度はルールを掲示するなど工夫したい。ワンふらは子供も来ていたため怪我のないようスタッフみんなで注意したい。
	飯田市女性バレーボール大会 《スポーツ振興》	(期 日) 11/17 (日) (会 場) 上郷小学校・上郷体育館 飯田市の女性バレーボール大会。	今年度は、上川路代表として出場。来年度も女性の運動、交流の機会として継続していきたい。
	飯田市ニュースポーツフェスティバル 《スポーツ振興》	(期 日) 11/10 (日) 大なわとび記録会 参加: 体育委員会有志 竜丘小 6 年の 3 クラス	体育委員有志にて参加。 スポーツ推進委員の声掛けにより竜丘小 6 年が参加。声掛けが大事。
	緑ヶ丘中学校区 スポーツ推進委員・体育委員 交流会 《スポーツ振興》	(期 日) 2/9 (日) (会 場) 松尾小学校 (1) アイスブレイキング (2) ワンふらバレー (3) 情報交換会	10 名が参加。普段、企画・運営側の委員が参加者として楽しみ、活動の意義を再確認する機会として実施。今後も継続して参加していきたい。
	3 地区合同女性バレーボール 大会 《スポーツ振興》	(期 日) 6/30 (日) (会 場) 飯田市勤労者体育センター 参加: 竜丘 2、松尾 2、下久堅 1	今年は早めに日程調整をし、スムーズに実施できた。参加チーム数が減ってしまったが、声を掛け合って楽しく実施できるとよい。
広報事業	館報「たつおか」発行	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の現況を伝える ・記録としての役割 ・地域の問題提起 ・読みやすく親しまれる館報づくり ・地域自治会ホームページへ掲載 	公民館活動や地域の取り組みなどをできる限りタイムリーに提供できるよう努めている。

令和元年度 竜丘公民館 事業報告

民俗資料保存事業	<p>民俗資料保存事業</p> <p>《文化の伝承と充実》</p>	<p>地域の有形・無形の民俗資料を後世に伝えるための収集・保存活動を行うとともに、それらを広く公開していく。</p> <p>(1) 木下紫水関連資料の整理・保存</p> <p>(2) 民俗資料館の維持管理及び資料館の今後についての検討</p> <p>(3) 自由画保存顕彰委員会へ参画</p>	<p>委員は自由画保存顕彰委員会にも参画しており、今年度はそちらに力を入れた。建物の老朽化、委員の高齢化という課題はあるが、小学生と実際に道具を使う機会をつくるなど有効に活用していきたい。</p>
育成委員会	<p>第12回竜丘古墳まつり</p> <p>《家庭・学校・地域との連携》</p>	<p>(期日) 6/16(日) 【雨天中止】</p> <p>竜丘の誇る文化遺産を会場に、竜丘全体のまつりとして位置づけている。古墳を広く知ってもらい今後の有効活用、保存活動に繋げていく。埴輪の野焼き、勾玉作り、火おこし体験、古代食コーナー、古墳巡り、花の植え付け等。</p>	<p>雨天中止。しかし6/22には野焼きのみ実施。多くの6年生の参加の元、今までで一番上手に焼くことができた。(76体中、破損2体のみ) 野焼きには経験値が必要なため永くやっていただくスタッフの確保が必要だが幸いやってくれる方がみつかった。</p>
育成委員会	<p>第2回川で遊ぼう《家庭・保育園・学校・地域との連携》</p>	<p>(期日) 8/25(日)(参加) 110名</p> <p>企画委員会、PTAと共催事業自然の中で、あきらめずに頑張ったり、工夫したりしながら魚を捕まえる経験を通して、たくましさを育むことをねらう。</p>	<p>600匹のマスと目玉となる信州サーモン2匹を放流しつかみ取りを行った。昨年より、多くの子が参加し楽しんでくれた。また役員の負担も軽減された。水辺の学校の活用という課題は残っている。</p>
育成委員会	<p>あいさつ運動</p> <p>《家庭・保育園・学校・地域との連携》</p>	<p>(期日) 統一行動8/26(月)</p> <p>標語の募集・選定、のぼり旗作成、あいさつ運動月間の周知、各分館でのあいさつ運動現地指導</p> <p>分館では統一行動日以外にもう1日行動日を設定して実施。</p>	<p>テーマを決めて標語の募集を行った。</p> <p>8月26日を統一行動日として各分館の協力のもと地域全体であいさつ運動を展開した。これに合わせ小学校の朝会でもあいさつについての話をしていただき、あいさつの大切さについて深める機会をとれた。</p>
古墳の会	<p>学習部会事業</p> <p>《文化の伝承と充実》</p>	<p>5月5日(日) 古墳めぐり 31名</p> <p>5月8日(水) 丘のみちしるべ探索 竜丘小6年生76名</p> <p>11月24日(日) 飯田の国史跡を巡る</p>	<p>古墳は竜丘が暮らしやすいシンボル。その古墳に子供から大人まで親しんでもらえる機会を作ることができた。</p>
古墳の会	<p>塚原二子塚古墳公園推進部会事業</p> <p>《竜丘らしい原風景の維持》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・花法師の会、カタバミの会活動 ・埴輪づくり指導 ・11月9・10日トンボ玉づくり ・除草作業3回 	<p>全体整備3回と草刈り隊の尽力により、いつもきれいな古墳を維持できた。</p> <p>花法師の会の皆さんにより、サルビアおよびジニアの植栽が出来た。</p>
古墳の会	<p>調査・広報部会事業</p> <p>《文化の伝承と充実》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の視察受け入れ 	<p>見学受け入れにあたっては、古墳の会役員だけでなく、案内者の養成が必要。</p>

令和元年度 竜丘公民館 事業報告

自由画保存顕彰	自由画保存顕彰事業 (期 日) 通年 《文化の伝承と充実》	小学校と連携し、竜丘に現存している自由画の保存と、その活用方法の研究、地域住民への理解を深めてもらうための活動を行う。 ・上田市サントミュージゼで開催される農民美術児童自由画100年展の鑑賞	市民大学講座への参画、上田で行われた農民美術児童自由画100年展の鑑賞旅行等を通じて、自由画をより捉えることができた。来年度は飯田美博で100年展が開催されるため、これをしっかりと有効活用し自由教育・自由画の顕彰に努めたい。
図書館	飯田中央図書館竜丘分館事業 (期 日) 通年	図書館の事業を補助 お楽しみ会、クリスマス会、かるた会他	エアコン工事も完了し、利用しやすい図書館となった。今後も図書館の活動を支援していく。
学級・講座	大人の学校 《生涯学習の推進》	60歳以上の住民を対象に、高齢者層のまとまりと生きがい、地域参画を図る。 運営委員中心にして、月1回の定例講座を開催。 運営委員会・班長会・定例会(講座)・クラブ長会などを随時実施。	高齢化社会の地域において、益々重要な役割を果たしている。設立当初の理念を大事にし、積極的な学習講座を展開している。特に、健康については毎月の講座に合せて、重点的に取り組んだ。
	「好友会(オホカウイ)」日本語教室	中国帰国者やベトナム等からの研修生を中心に、生活に困らない程度の日本語、習慣、文化の理解、情報交換、交流の場とする。 講師：西川和憲、善本勝、片町國臣、金子杏弓	言葉の勉強だけでなく、芋煮会で交流を深めたり、楽しい場となっている。最近ではベトナムの若い女性も多く見え、日本語検定の合格を目標に教室を開催している。次の講師の発掘も必要であり、今年は一人の方に入っていただけだ。
コミュニティスクール活動	小学校クラブ活動支援事業 《家庭等との連携》	小学校の15のクラブ活動(90分×5回と発表)の指導を大人の学校を中心に地域の講師が行う。	社会教育団体の地域貢献と、世代間交流の意味から重要な事業。コミュニティスクールをきっかけとして、地域の子どもを地域で育てる活動の中核事業として充実させていきたい。
	竜丘放課後子ども教室 《家庭等との連携》	(期 日) 毎週水曜(登録)53人 リーダー研修、集団行動訓練、野球、囲碁ボール、スポーツ吹き矢、ドッチビー、おしなご、工作、太鼓、英語等	子供たちの社会性や想像力を育てる点で、重要な事業。今後も子どもの育ちと地域の大人との関わりを大切にしていきたい。
	ぶらきよろ隊 《生涯学習の推進》	(期日)通年 (内容) 登下校の見守り 地域で子供を見守り防犯力を高める。 無理の無い範囲で各自で行う緩い活動。	地域の役員やご年配の方が登下校の時間に立ったり、有事の際には集団下校に同行した。緩い活動のため、機能していないとの指摘もあるが、地域で子供を見守る機運を高める活動として位置付けて継続していきたい。
委員研修	委員研修「丘のみちしるべ」 ～古墳コース～ 《文化の伝承と充実》	(期 日) 5/5(日) (参加) 30名 丘のみちしるべを活用し、公民館委員や先生方を対象とした学習会の実施。	改訂から5年が経過。 年度当初に、委員の学習、交流の場として位置づけ実施。今年は改選期でもあり、この機会を通じて、竜丘を再発見する機会、交流の機会にできた。

令和元年度 竜丘公民館 事業報告

	Cブロック公民館情報交換会	(期 日) 6/15(土) 5地区の委員が集まり研修や情報交換を行う。	下久堅が主担当。下久堅ふれあい交流館で紙漉き体験をするなど、下久堅を学ぶとともに委員同士の交流の機会となった。
	視察研修 《生涯学習の推進》	(期日) 9/29(日) (内容) カーリング 他地域の活動を体験・学習するとともに親睦を深める機会。	今年度の研修担当は体育委員会。近年話題となったカーリングを体験。滅多にできない体験ができ良い機会となった。
その他	飯田市公民館大会参加 《生涯学習の推進》	(期 日) 2/16 (日) 大会テーマ “関わり つながり 学びあう”心豊かな暮らし・地域をめざして 分科会テーマ ①子ども、②高校生・若者、 ③人形劇・地域文化④共生社会、 ⑤公民館・分館、⑥ムトス	竜丘からは10名が参加。基調講演では島根県で高校魅力化に取り組む岩本悠氏の講演を聞き、その後、分科会では共通のテーマを基に、他地区の事例を聞くと共に、情報交換を行った。公民館活動を振り返る機会となった。
	JICA研修への協力	(期 日) 8/20 (火) JICAのプログラムPLSD研修を受け入れ。自治や公民館についての講義、現地研修等を実施。竜丘公民館本館での受け入れに加え、駄科分館での受け入れも継続され7年目となった。	竜丘をはじめとした飯田市の公民館活動が、途上国を中心に注目を集めている。この研修を通して、飯田の地域のすごさを学び、公民館活動を見つめ直す機会となっている。竜丘地区からは、下平隆司氏、宮嶋聰子氏、鈴木運友氏が講師として登壇した。
	地域人教育事業 《家庭・保育園・学校・地域との連携》	飯田OIDE長姫高校商業科「地域人教育」実施 (高校・松本大学・市のパートナーシップ協定による) ・駄科の夏祭りで屋台、上川路公民館にて高齢者の交流の場づくり	竜丘としては4年目の取り組み。高校生の生きる力を育むと共に、人材サイクル構築の一環として取り組んでいる。若者と地域が一緒になって豊かな暮らしにつなげる機会としたい。